

遷延性悲嘆障害評価尺度(PG-13 日本語版) ©

日本語版作成: 中島聡美, 伊藤正哉, 白井明美, 金吉晴

遷延性悲嘆障害 (PGD) は新たに定義された精神疾患であり, 愛する人の喪失に対する特徴的な反応である。PGDの基準を満たしていると判断するためには, PGDの特徴的な症状 (感情, 思考, 行動) が, 少なくとも6ヶ月以上継続し, 著しい機能の障害を伴っていることが認められなくてはならない。

教示

遷延性悲嘆障害 (PGD) の診断と評価をどのように行うかについて下記に示した。PGDと診断するためには, 回答者が基準A- Eのそれぞれの条件を満たしている必要がある。

- A. 出来事の基準:** PG-13の実施に当たっては, 回答者が死別(すなわち, 愛する人の死)を経験していることが前提である。
- B. 離別の苦痛:** 回答者はPG-13の#1 か 2のどちらかを一日に一回以上体験していなければならない。
- C. 持続期間の基準:** 上記の離別の苦痛による症状は少なくとも6ヶ月以上持続していなければならない。つまり, PG-13の#3の回答は, “はい”でなくてはならない。
- D. 認知, 情動, 行動における症状:** 回答者はPG-13の#4から#12のうち, 5つ以上の項目を, 少なくとも “少なくとも1日に1回はあった” あるいは “かなりある” の頻度で経験していなくてはならない。
- E. 機能障害の基準:** 回答者は社会的, 職業的, あるいは他の重要な領域 (例えば, 家事) において, 著しい機能障害を有していなければならない。つまり, PG-13の#13は “はい”と回答されていなくてはならない。

PG-13は診断のツールである。回答者がPGDの基準に合致している場合には, 精神保健の専門家によってさらに詳細な評価を受けるべきであることを示している。精神保健の専門家の対面によるアセスメントでなければ, 報告された症状の臨床的意義の判断を確定し, 治療を勧めたり紹介を行うことはできない。

PART I 教示: それぞれの項目について、あてはまると思う番号にチェックをしてください。

1. この一ヶ月間に、亡くなった方を慕い、会いたいと思ひ焦がれることがどのくらいありましたか？

- 1 = 全くなかった
 2 = 少なくとも1回はあった
 3 = 少なくとも週に1回はあった
 4 = 少なくとも1日に1回はあった
 5 = 1日に数回あった

2. この一ヶ月間に、その方との関係が失われたことにまつわる心の痛みや、悲哀、急に悲しみがこみ上げるなどの強い感情を体験することがどのくらいありましたか？

- 1 = 全くなかった
 2 = 少なくとも1回はあった
 3 = 少なくとも週に1回はあった
 4 = 少なくとも1日に1回はあった
 5 = 1日に数回あった

3. 上の質問1と2のどちらかの症状が、少なくとも6ヶ月間以上、毎日続いていますか？

- いいえ
 はい

4. この一ヶ月間に、亡くなった方がいなくなってしまったことを思い出させるような物事を、避けようとするのがどのくらいありましたか？

- 1 = 全くなかった
 2 = 少なくとも1回はあった
 3 = 少なくとも週に1回はあった
 4 = 少なくとも1日に1回はあった
 5 = 1日に数回あった

5. この一ヶ月間に、その方を失ったことについて愕然^{がく}としたり、ショックを受けたり、あるいはぼう然^{ぼう}としてしまうことがどのくらいありましたか？

- 1 = 全くなかった
 2 = 少なくとも1回はあった
 3 = 少なくとも週に1回はあった
 4 = 少なくとも1日に1回はあった
 5 = 1日に数回あった

PART II 教示: 以下の項目について、あなたが現在どのように感じているのかをお答えください。右の欄で、あなたが、もっとも当てはまると思う数字に○をつけてください。	まったくない	わずかにある	いくらかある	かなりある	非常にある
6. 人生における自分の役割が混乱したり（例えば、自分が何者であるかわからなくなる）、自分という感覚が希薄になっている（すなわち、自分自身の心や体の一部が死んでしまったような感覚がある）	1	2	3	4	5
7. その人を失ってしまったということを受け入れることが困難である	1	2	3	4	5
8. その人を失ってから、他の人を信頼するのが難しくなっている	1	2	3	4	5
9. その人を失ったことに対して、つらく苦しい思いがある	1	2	3	4	5
10. 前向きに生きること（例えば、新しい友人をつくったり、新たに何か興味をもてることを行うこと）が今は難しいと感じる	1	2	3	4	5
11. その人を失ってから、感情が麻痺しているように感じる	1	2	3	4	5
12. その人が逝ってしまっただけからは、人生は満たされない、空虚で、無意味なものだと感じている	1	2	3	4	5

PART III 教示: 下記の項目について、あてはまるものにチェックをしてください

13. 社会生活や、仕事、その他の日常生活（例えば、家事）が、あきらかに以前よりうまくいかなくなっていますか？

_____ いいえ

_____ はい

この尺度は遷延性悲嘆障害評価尺度英語版 (Prolonged Grief Disorder : PG-13)を原著者らの許可を得て翻訳・したものです。 原版著作権 ©2008年Holly G. Prigerson, Ph.D., Paul K. Maciejewski, Ph.D.
原版については、以下の論文を参照ください。

Prigerson HG, Horowitz MJ, Jacobs SC, Parkes CM, Aslan M, Raphael B, Marwit SJ, Wortman CB, Goodkin K, Neimeyer RA, Bonanno G, Block S, Kissane D, Boelen P, Maercker A, Litz B, Johnson JG, First MB, Maciejewski PK. Field Trial of Consensus Criteria for Prolonged Grief Disorder Proposed for DSM-V PLoS Medicine <http://dx.doi.org/10.1371/journal.pmed.1000121>

日本語版著作権 ©2008年 中島聡美、伊藤正哉、白井明美、金吉晴。

本印刷物の無断転載を禁じます。

原版、日本語版については、以下のサイトから無料で入手できます。

Center for research on END-OF-LIFE-CARE at Weill Cornell Medical University

http://endoflife.weill.cornell.edu/research/assessments_and_tools

日本語版についての問い合わせは下記にご連絡ください。

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター 中島聡美 (e-mail:snakajim@fmu.ac.jp)

Citations:

Prigerson HG, Vanderwerker LC, Maciejewski PK. A Case for the Inclusion of Prolonged Grief Disorder in DSM-V. Pp. 165-186, Chapter 8 in *Handbook of Bereavement Research and Practice: 21st Century Perspectives*, Eds., Margaret Stroebe, Robert Hansson, Henk Schut & Wolfgang Stroebe, Washington, D.C.: American Psychological Association Press, 2008

Prigerson HG, Horowitz MJ, Jacobs SC, Parkes CM, Aslan M, Raphael B, Marwit SJ, Wortman CB, Goodkin K, Neimeyer RA, Bonanno G, Block S, Kissane D, Boelen P, Maercker A, Litz B, Johnson JG, First MB, Maciejewski PK. Field Trial of Consensus Criteria for Prolonged Grief Disorder Proposed for DSM-V PLoS Medicine <http://dx.doi.org/10.1371/journal.pmed.1000121>

Zhang B, El-Jawahri A, Prigerson HG. Update on bereavement research: evidence-based guidelines for the diagnosis and treatment of complicated bereavement. J Palliat Med. 2006;9:1188-203.

Articles that have applied ICG-R to PGD criteria:

Boelen PA, Prigerson HG. The influence of symptoms of prolonged grief disorder, depression, and anxiety on quality of life among bereaved adults: a prospective study. Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci. 2007;257(8):444-52.

Goldsmith B, Morrison RS, Vanderwerker LC, **Prigerson HG.** Elevated rates of Prolonged Grief Disorder in African Americans. Death Studies. 2008; 32; 4: 352-365

Kiely DK, Prigerson H, Mitchell SL. Health care proxy grief symptoms before the death of nursing home residents with advanced dementia. Am J Geriatr Psychiatry. 2008;16(8):664-73.

Morina N, Rudari V, Bleichhardt G, Prigerson HG. Prolonged grief disorder, depression, and posttraumatic stress disorder among bereaved Kosovar civilian war survivors: A preliminary investigation. Int J Soc Psychiatry. 2009 Jul 10. [Epub ahead of print]

Maciejewski PK, Zhang B, Block SD, Prigerson HG. An Empirical Examination of the State Theory of Grief Resolution. JAMA 2007; 297: 716-723.